

2005年2月23日

## フッ化カルシウム (CaF<sub>2</sub>) 単結晶 開発体制を強化

株式会社トクヤマ

当社は以前から半導体製造用の露光装置（ステッパー）のレンズ材料として開発していたフッ化カルシウム単結晶について、市場評価、市場実績を蓄積するため、開発体制を強化する。具体的には従来、開発実験棟で行っていた単結晶育成設備など一連の製造設備を徳山製造所（山口県周南市）の遊休建屋に移設するとともに、新たに設備を増強するもの。工事は関係省庁の認可を待って着工し、本年9月完成の予定、投資額は約10億円の見込み。

当社は2002年11月にチョクラルスキー法（CZ法）によるCaF<sub>2</sub>単結晶引き上げ成功を発表して以来、サンプルワークなどを通じて、ステッパー用レンズ硝材に要求される高精度の品質、安定生産技術の開発・向上に努めてきた。この度、実用レベルの品質、安定生産にある程度の目途がたつことから、研究開発部門における新たな取り組みとして試験的コマーシャルステージへと移行する。今回の開発体制強化、生産体制の整備により、レンズブランク（レンズになる前のディスク）で年産約300枚の供給が可能になる。

今後は品質、生産技術の更なる向上を図り、ステッパーメーカーからの出荷要請に応えるとともに、光の透過率が高く、赤外光から深紫外光まで透過領域が広いという特性を活かしてステッパー以外の新規需要開拓も進めていく。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社トクヤマ 広報グループ：03-3499-8023

総務グループ：0834-21-4278